

令和3年度第1回障がい者雇用セミナー事業報告

配信期間：令和3年7月5日（月）

～7月16日（金）

参加者：107社 176名

講演内容：「障がいのある従業員の
メンタルヘルスクエア」

講師：九州大学

キャンパスライフ・健康支援センター
助教・臨床心理士 面高 有作 氏

全体の流れ

- ・障がい者雇用を取り巻く社会状況の変化
- ・障がいの有無にかかわらず働きやすい職場→知識とルール作り
- ・知識：障がい者とメンタルヘルス
- ・ルール作り：九州大学の取り組み
- ・合成事例：個別の対応例
- ・大学人材の活かし方

配信動画から抜粋(一部改変)

令和3年度第1回障がい者雇用セミナーを7月にWEB動画配信で開催しました。



面高先生

今年度は、障がい者のメンタルヘルスをテーマに「障がい者雇用セミナー」を企画しています。第1回目は「障がいのある従業員のメンタルヘルスクエア」について、大学内で障がいのある学生や職員などからの相談を受けている九州大学キャンパスライフ・健康支援センターの面高先生にご講演いただきました。

先生からは、障害者差別解消法や障害者雇用促進法、労働安全衛生法など、近年の社会状況の変化や精神障がい者の特性を踏まえて、大学での取り組みについて事例を交えて分かりやすくお話しいただきました。

特に、学内での障がい者雇用がうまくいかなかった理由を分析して、障がい者へのアンケート、ヒアリング、好事例のフィードバックという一連の流れを取り入れて全学での取り組みにしていっていったプロセスや、発達障がいのある方に対して構造化して対応するなど、特性に応じた具体的な取り組みについて、興味深いお話をいただきました。

最後に、企業の認識で「よくある間違い」について、つい起こしがちな誤りについてもお話しいただくなど、幅広い視点から障がいのある方のメンタルヘルスクエアについて学習できたと思います。

《講演視聴者の声》

- ・「自分自身が環境因子であること」「役割分担の大切さ」とても勉強になりました。
- ・定期的なアンケート実施や会社の人事担当や産業医との面談などは今後していくべきだと思いました。
- ・細かい言葉のニュアンスで差別だったり、配慮だったり丁寧な解説くださり理解することができました。

よくある間違い

- ・障がい者だけ特別扱いはできないよ
- ・やる気があるから、どんどん仕事をお任せしている（就業時間も増やしました）
- ・あなたは（障がい者だから）この研修は受けなくていいよ
- ・採用面接の時に言ってくれていないから、配慮はできないよ

配信動画から抜粋(一部改変)

《令和3年度第1回障がい者雇用セミナーを終えて・・・》

○昨年度の第4回目セミナーに続いて、動画配信にしましたが、176名と多くの方からのお申込みをいただきました。

講師の面高先生をはじめ、受講していただいた皆様に感謝申し上げます。

○アンケートでは、多くの方が動画配信を希望する一方、意見交換を含めた集合型のセミナーを希望する方も一定数いらっしゃいました。

○今後、それぞれのメリット・デメリットを考えながらテーマに合わせて開催方法を検討していきたいと思います。

令和3年度第2回障がい者雇用セミナー事業報告

配信期間：令和3年11月8日（月）
～11月19日（金）

参加者：106社 148名

講演内容：「発達障がいのある社員とともに
～当事者及びその周囲の社員のために～」

講師：福岡県障がい者リハビリテーションセンター
センター長・医師 永吉 美砂子 氏

発達障害の認知特性

- | | |
|---------------|------------|
| 1 情動コントロール未成熟 | |
| 2 語義語用障害 | 7 失認 |
| 3 実行機能未成熟 | 8 感覚障害 |
| 4 記憶に関する困難 | 9 協調運動障害 |
| 5 注意障害 | 10 自尊心低下 |
| 6 失行（不器用） | 11 自己効力感低下 |

配布資料から抜粋

令和3年度第2回障がい者雇用セミナーを11月にWEB動画配信で開催しました



永吉先生

今年度、第2回目となる「障がい者雇用セミナー」は、「発達障がいのある社員とともに～当事者およびその周囲の社員のために」について、発達障がいについての造詣が深く、また産業医として発達障がいのある社員への対応経験のある福岡県障がい者リハビリテーションセンターの永吉先生にご講演いただきました。

先生からは、①発達障がい者の就労上の問題点②発達障がい者本人の心の表現③脳機能からみた発達障がい ④支援のポイントと就労上の利点 ⑤周囲の配慮などについて、当事者がどう思っているかも交えて分かりやすくお話していただきました。

特に、発達障がいのある上司や部下を持った時の困り感や当事者の心の声、脳の認知機能から見た発達障がいの特性など、幅広い視点で興味深いお話でした。

企業の人事担当者だけでなく、現場で対応されている社員の皆様からも多くお申込みがありました。障がいの特性や対応などについて知っていただけたのではないかと思います。

《講演視聴者の声》

- ・発達障害の特性について多方面から理解できてとても有意義でした。ありがとうございました。
- ・今回は脳の構造など普段あまり目にしないことも知ることができてたいへん良かった。
- ・現在、書籍やネット等で情報を収集して問題の対処等に当たっていますが、今回のセミナーで新しい情報があり、今後活用していこうと思います。

配慮ある適切な職場環境、家庭が発達障がい者の自尊心や自己効力感を高め本人の能力を引き出す



職場や家庭の果たす役割は大きい。発達障害といえども脳は発達し続けることを周囲が信じて、職場でも周囲の社員が粘り強く関わるのが肝要

配布資料から抜粋

《令和3年度第2回障がい者雇用セミナーを終えて・・・》

○前回セミナーに続いて、動画配信にしましたが、148名と多くの方からのお申込みをいただきました。講師の永吉先生をはじめ、受講していただいた皆様に感謝申し上げます。

○アンケートの満足度も92%の方から「大変良かった」又は「良かった」との評価をいただいたほか、社内で複数名からのご視聴をいただいた企業が13社、新規にお申込みいただいた企業が35社と今回のテーマへの関心の高さがうかがえました。今後、さらに皆様のニーズに合ったセミナーを企画して参りたいと思います。

令和3年度第3回障がい者雇用セミナー事業報告

配信期間：令和4年2月14日（月）

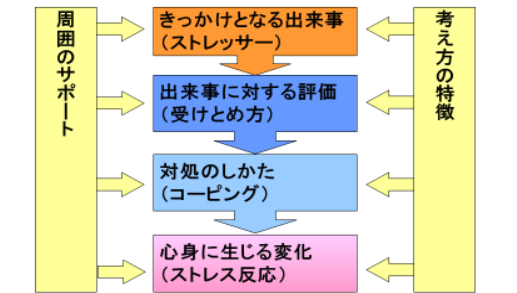
～2月25日（金）

参加者：85社 119名

講演内容：障がい者雇用とメンタルヘルスケア
～ストレス対処への取り組みについて～

講師：独立行政法人 高齢・障害・求職者雇用支援機構
福岡支部 福岡障害者職業センター
主幹障害者職業力カウンセラー 福留 摩里子 氏

ストレス発生のプロセス



※ストレッサーがストレス反応に直結しているわけではない
参考：奥田 1998 を参考に作成

令和3年度第3回障がい者雇用セミナーを WEB 動画配信で開催しました。

配布資料から抜粋

今年度、3回目となる「障がい者雇用セミナー」は、「障がい者雇用とメンタルヘルスケア～ストレス対処への取り組みについて」をテーマに福岡障害者職業センターの福留様にご講演いただきました。

福留様が携わっている、うつ病などで休職中の方に向けた職場復帰支援（リワーク支援）についてや、その支援で活用されているセルフケアに関する取り組み「ストレスを知る」、「ストレス対処について知る」、「自分に合うストレス対処法を考える」の三つを軸にした内容でした。

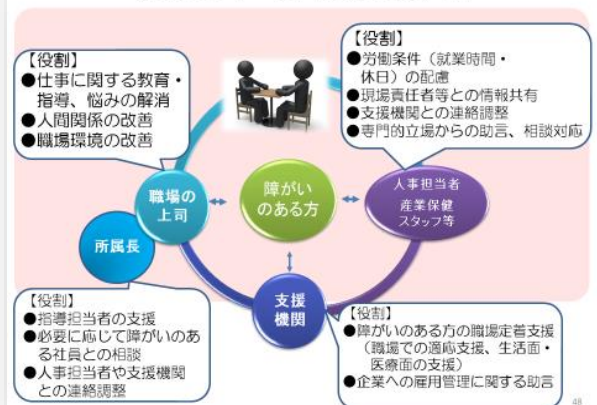
大切なのは日常の気付きにくい些細な出来事から起こるストレスサインに気づき、早目に対処すること。その手法であるコーピングについてもわかりやすく説明いただきました。

また、障がいのある社員へのサポートだけでなく、彼らと一緒に働く社員へのサポートを上司や所属長が行うことが大切で、それぞれの役割を機能させながらメンタルヘルスケアに取り組むラインケアが重要だと仰っていました。様々な困難な状況が続く昨今、今回の講演は障がいの有無にかかわらず大変参考になる内容でした。

≪講演視聴者の声≫

- ・メンタルヘルスケア、セルフケアの大切さがよくわかりました。ストレスの対処法によって、受け止め方によって全く違う状況を作れるということがわかりました。
- ・現在勤務しているスタッフへの対応にも、参考になります。微力ではありますが、障がいのある方が通常の社員と同じ様に元気で働ける職場にしたいと思っています。
- ・現在職場に障がい者の方はいませんが、ストレスの対応方法等が勉強になった。

職場のサポート体制と役割分担例



配布資料から抜粋

≪令和3年度第3回障がい者雇用セミナーを終えて・・・≫

○今年度最後の「障がい者雇用セミナー」は、85社 119名と多くの方からのお申込みをいただきました。

講師の福留様をはじめ、受講していただいた皆様に感謝申し上げます。

○アンケートには、セミナーで取り上げてほしいこと等、企業の方の思いが詰まった、たくさんコメントをいただいています。今後も皆様のニーズに合ったセミナーを企画して参りたいと思います。